



オフィス



<施設の概要>

所在地：長崎県諫早市東小路町150,151の一部、152番地
 建築面積：1,059.62㎡
 延床面積：3,915.15㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建（一部5階）
 設計：建築/樹地建設設計
 設備/内装ファースト設備企画
 施工：建築/樹古賀建設
 電気/樹三恵電業
 竣工：平成15年6月

Hf器具による日の字配置を採用し 快適な視環境を創出しながら省エネを実現しています

「省エネ」「環境への配慮」「ユニバーサルデザインの導入」をコンセプトとし、市民へのサービスの向上が図られた新庁舎 諫早市役所新別館は、市役所庁舎が永年の経過で施設の老朽化、狭隘化が著しくなっていたと共に、近隣に分散化していた庁舎を一か所に集約し、市民へのサービスと効率的な業務機能の向上をはかるために建設された建物です。

地上4階、延床約3,900㎡の建物は、高齢者、身障者にやさしい「ユニバーサルデザインの導入」、自然通風や日照調整の庇の設置などによる「熱源コストの削減」、「周辺環境への配慮」を設計コンセプトとし、全ての市民に「安全に利用しやすい市民共有の施設整備を念頭におきつつ、シンボルとしての魅力を最大限に引き出す施設」として計画されています。

1階から4階までの執務室の照明は快適な視環境を創出するのはもちろんのこと、机のレイアウト変更においても照明が業務の支障にならないようにするとともにエネルギーセーブにも配慮し、32WHf蛍光灯1灯用金属ルーパ付埋込器具を連結した日の字パターン配置としています。これにより机上面に照度ムラの少ないほどよい明るさが確保され、かつVDT画面への映り込みもほとんど生じない目にやさしい視環境を得ながら省エネが実現されています。また、日の字配置による柔らかな天井空間を創り出していると同時に、光の方向性をなくしたことにより、机やOA機器のレイアウト変更にも照明が支障にならない快適な執務環境を可能にしています。

会議室の照明は55Wコンパクト形蛍光灯3灯用埋込深枠カバー付スクエア器具を整列配置し、柔らかい無方向性の光で目の疲労や心理的影響の少ない落ち着いた照明環境を創り出しています。

玄関ホールはかまぼこ形状とした建築化照明の光天井とその周囲に設けたコーブ照明により、自然感のある開放的な空間を形成しています。

建物の裏側は屋外回廊に位置付けた遊歩道となっており、デザイン的に組合せた塀が設けられています。この塀の合間に設けた低いガラス囲いに内側から130Wハロゲンランプ投光器で照射し、夜間歩行中の足元灯としての機能をもたせています。



執務室の照明：32WHf蛍光灯1灯用ルーパ付埋込器具の連結を日の字配置。照度ムラの少ないほどよい照明環境を創り出している



執務室の天井面：日の字配置で、机のレイアウト変更の場合でも照明が支障にならない快適な執務環境を可能にしている



会議室の照明：55Wのコンパクト形蛍光灯3灯用埋込深枠スクエア器具(カバー付)を整列配置



玄関ホールの照明：105WHfコーラインを内蔵した建築化照明で開放的な空間を演出



塀と塀の合間のガラス囲いに投光器で照射し、足元灯の機能を創出

主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
執務室他	埋込器具(ルーパ付)	FHR-41906MK	758	32WHf蛍光灯×1
会議室他	埋込器具(カバー付)	FR-53780K	54	55Wコンパクト形蛍光灯×3
連絡通路他	埋込器具(ルーパ付)	FHR-33311	93	36Wコンパクト形蛍光灯×3
屋外	ガーデンライト	FUX-13151(K)JKL-GL16(改)	5	13Wコーライン2×1
	投光器	QT-1500F(S)JNK	5	130Wハロゲンランプ

照明コンセプト

Lighting design concept

机のレイアウト変更フレキシブルな対応と、明るく快適な執務空間を確保しながら省エネ計画の実現化。